

入試年度	2025年度入試	研究科	商学研究科
課程	修士課程	コース	中小企業経営管理コース
入試期	2期	入試方式	全入試区分
研究分野(演習科目名)	中小企業経営管理		
<b>出題意図及び解答又は解答例</b> <b>※試験問題自体を公開しない場合はその理由</b>			
出題問題	<p>企業にとっての、実践的な規範、行動原理について論述せよ。</p>		
出題意図	<p>本問題は、経営者・実務家・経営支援専門職(中小企業診断士)として必要な「経営倫理観・価値判断力・実践的思考力」を総合的に評価することを目的としている。単なる理論の暗記や一般論ではなく、受験者がどのように「企業の現場における行動規範」や「意思決定原理」を捉え、実際の経営行動へと結びつけて考えられるかが問われている。特に以下の能力を確認する意図がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.経営倫理・企業理念の理解力:経営における倫理・社会的責任(CSR・サステナビリティ・ESG等)の意味を理解しているか。</li> <li>2.実践的適用力:抽象的理念を具体的な企業活動(経営戦略・組織文化・意思決定・リーダーシップ・地域貢献など)にどう落とし込めるか。</li> <li>3.中小企業経営への洞察:大企業とは異なる中小企業の現場特性(経営資源の制約、人間関係の近接性、地域密着性など)を踏まえた「実践的規範」のあり方を考察できるか。</li> <li>4.主体的思考力・倫理的自律性:他者や制度に依存せず、自らの経営哲学や価値判断基準を明確に持ち、根拠をもって展開できるか。</li> </ol>		
解答又は解答例	<p>本問題は論述式の筆記試験問題であり、解答は一義的でないため、以下に、採点時の基準や観点等を示している。採点にあたっては、以下の点を総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題理解・論点設定力(約20点):「実践的な規範」「行動原理」という設問の主題を正確に捉えているか。経営実務に即した論点を自ら設定し、明確に提示しているか。</li> <li>2. 理論的基礎と概念的的確さ(約20点):経営学・倫理学・組織行動論・経営戦略論などの基礎理論を理解しているか。用いる概念(例:企業倫理、経営理念、CSR、サステナビリティ等)が適切であり、論理的に整合しているか。</li> <li>3. 実践的展開力(応用力)(約25点):理論を具体的な企業活動・事例・自らの経験などに結びつけて論じているか。経営者・従業員・地域社会など、多様な主体の関係性を踏まえて実践的に展開しているか。経営現場の課題に対して現実的かつ創造的な視点を提示しているか。</li> <li>4. 思考の独自性・構成力(約20点):論旨に一貫性があり、主張が明確であるか。自らの価値観や経営観に基づいた独自の視点・構成が示されているか。既存理論や一般論の単なる引用にとどまらず、自らの考察として再構成されているか。</li> <li>5. 表現力・論文体の整合性(約15点):文章構成が明快で、段落・論理の流れが自然か。語彙・文体が学術的・論述的に適しているか。誤字脱字や曖昧な表現が少なく、全体として読みやすいか。</li> </ol>		